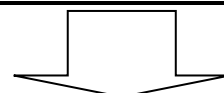


令和4年度授業改善推進プラン

教科 [理] 科

学習状況の実態・調査結果等を踏まえた内容別・観点別分析表

1年	2年	3年
<ul style="list-style-type: none"> ・授業への関心・意欲があり、落ち着いて学習に取り組んでいる。 ・実験や観察に意欲的に取り組んでいる生徒が多い。 ・学力調査の達成度は、おおむね良好であるが、化学実験の正確な方法や、比較・関連付けて考え、題意を理解して推論し解決する問題等に課題が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への関心・意欲が高く、落ち着いて学習に取り組んでいるが、単元により苦手な教科と感じている生徒も多い。 ・知識・技能はおおむね良好であるが、思考・判断・表現に関わる部分では基礎知識や観察結果をもとに考える力に課題が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に積極的に取り組んでいる生徒が多い。 ・実験や観察に意欲的に取り組んでいる生徒が多い。 ・思考・判断・表現では、分かったことを正確に言葉や文章で表現することや、進んで考えることができない生徒も見られる。 ・知識・技能は、おおむね良好であるが、理解したことをうまく整理できていない生徒もいる。



指導方法の課題分析と具体的な授業改善及び補充指導の計画

	指導方法の課題分析	具体的な授業改善策
1年	<p>植物の世界・身のまわりの物質</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実験や観察には、意欲的に取り組んでいるが、結果をノートやプリントにまとめることに時間を要するので十分な時間を取るようにする。 ・丁寧に指導していき、自分でまとめられるような力を付けさせる。その上で、班や個人で科学的思考を高めるよう課題を工夫する。 ・2単元を同時に学習しているので、授業のつながりが理解しにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚的に分かりやすくするために、ICT機器を活用した映像による教育を多く取り入れていく。 ・ワークを利用して、学習状況の把握をしていく。 ・毎時間の学習目標や既習事項とのつながりを意識できるよう授業を展開する。 ・実験プリントで、自分で考えて穴埋めしていけるように工夫する。 ・実験や観察の考察で、班で考え発表する活動などをできるだけ多く取り入れ、科学的思考力・表現力を高める機会を増やす。 ・単元ごとに小テストを実施する。 ・パフォーマンステストを行い、ガスバーナーや顕微鏡などの使い方の技能を向上させる。 ・タブレットを活用した調べ学習などの課題を行い、自主的に学ぼうとする態度を養う。
2年	<p>化学変化と原子、分子・動物の世界</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落ち着いて学習する雰囲気ができているので、関心・意欲につながるよう発展的内容も入れながら授業の展開を工夫していく。 ・物理、化学実験の方法を確認する時間を設けて、振り返り学習をさせながら、基礎的操作方法の定着を図る。 ・科学的思考力を高める指導を計画的、継続的にしていく必要がある。 ・目に見えない事象についてイメージがもちにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数値処理に課題が見られたため、日頃より数値処理が出てくる課題を多く取り入れていく。 ・実験・実習の機会を多くし、本物に触れたり、生活体験として捉えたりする機会を増やして関心・意欲を高めながら、学習内容の定着を図る。 ・毎時間の学習目標や既習事項とのつながりを意識できるような授業の展開をする。 ・実験や観察の考察で、班で考え発表する活動などをできるだけ多く取り入れ、科学的思考力・表現力を高める機会を増やす。 ・視覚的に分かりやすくするために、ICT機器を使用して映像や教材の工夫をしていく。 ・タブレットを活用した調べ学習などの課題を行い、自主的に学ぼうとする態度を養う。
3年	<p>生命の連続性・化学変化とイオン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遺伝の規則性や化学変化とイオンについて基本的な理解はできているが、実験や観察を通して、科学的に考えようとする意欲を高める。 ・3年間の学習内容の関連性を理解させる工夫を加える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容と関連ある日常の出来事についてできるだけ触れ、自主的に学ぼうとする態度を養う。 ・実験や観察など授業の目的や学習の流れをはっきり示して、自分で考える機会を増やし、理解しやすくする。 ・実験や観察の考察で、班で考え発表する活動などをできるだけ多く取り入れ、科学的思考力・表現力を高める機会を増やす。 ・3年生の内容を学習しながら、1・2年の内容があれば戻り、系統的に学習内容が理解できるよう配慮する。 ・数値処理に課題が見られたため、日頃より数値処理が出てくる課題を多く取り入れていく。 ・タブレットを活用した調べ学習などの課題を行ったり、視覚的に分かりやすくするためにICT機器を使用したりして教材の工夫をしていく。